



亡命したダンサー
～ルドルフ・ヌレエフ～
Dancer who flight from his country
～ Rudolph Nureyev ～

vol.41

2013/4/24 (Wed.)～2013/5/19 (Sun.)

出品作品

- ◆ルドルフ・ヌレエフ 署名入り写真
(写真 [PH-087ws] / 1960～1970年代)
Photograph of Rudolf Nureyev (with signature) / 1960-1970s / 15.6×10.8cm (PH-087ws)
- ◆「スパルタクス」を踊るルドルフ・ヌレエフ
(写真 [PH-1694] / 1960～1970年代)
Photograph of Rudolf Nureyev in "Spartacus" / 1960-1970s / 40.3×30.5cm (PH-1694)
- ◆「ヌレエフ・フェスティバル」のプログラム「白鳥の湖」
(プログラム [PR-490] / 1981年6月15日～7月11日 / ロンドン、ロンドンコロシウム)
Programme of "NUREYEV FESTIVAL", "Swan Lake", Victor Hochhauser presents by arrangement with English National Opera / 1981.6.15-7.11 / London Coliseum, London / 22.9×13.3cm (PR-490)
- ◆ア・トリビュート・トゥ・ルドルフ・ヌレエフ(1983～93)
(プログラム [PR-098] / 1993年4月25日 / 英国、ロイヤル・オペラ・ハウス、コヴェント・ガーデン)
Programme of "A Tribute to Rudolf Nureyev (1938-93)" / 1993.4.25 / Royal Opera House, Covent Garden, UK / 24.6×18.7cm (PR-098)
- ◆ルドルフ・ヌレエフの切手「ミューズたちを導くアポロ」
(切手 [ST-66] / 1989年 / ローマ)
Stamp of Rudolf Nureyev, "Apollo Musagète" / 1989/Roma / 4.1×3.1cm (ST-66)
- ◆ルドルフ・ヌレエフの切手 ケン・ラッセルの映画「ヴァレントィノ」
(切手 [ST-67] / 1989年 / ローマ)
Stamp of Rudolf Nureyev, Film "Valentino" / 1989/Roma / 4.1×3.1cm (ST-67)
- ◆ルドルフ・ヌレエフの切手「マルグリットとアルマン」
(切手 [ST-68] / 1989年 / ローマ)
Stamp of Rudolf Nureyev, "Marguerite et Armand" / 1989/Roma / 4.1×3.1cm (ST-68)
- ◆「Nureyev」
(オークション・カタログ [AC-38] / 1995年1月12日～13日 / ニューヨーク)
Auction catalogue "Nureyev" / 1995.1.12-13 / Christie's, New York / 27.5×21.5cm (AC-38)

Kenji Usui Ballet Collection

亡命したダンサー
～ルドルフ・ヌレエフ～
Dancer who flight from his country
～ Rudolph Nureyev ～

vol.41

2013/4/24 (Wed.)～2013/5/19 (Sun.)

今年ルドルフ・ヌレエフの死後 20 年に当たります。その死を悼む声は今も絶えません。驚くような跳躍力と表現力はまさに世界中を虜にしました。映像に残る姿からもその圧倒的な魅力を感じることができる数少ないダンサーと言えるでしょう。

ルドルフ・ヌレエフ / Nureyev, Rudolf
(ダンサー・振付家、芸術監督)

1938年シベリアを走る鉄道の中で生まれ、1993年パリで死去。
20世紀の男性バレエ・ダンサーの大スター。
民族舞踊のダンサーとして活躍したのち、17歳という異例の年でキーロフ・バレエ学校。3年間のアレクサンダー・プーシキンによる訓練の後 1958年にキーロフ・バレエ団にソリストとして入団。
1961年6月16日のキーロフ・バレエ団でのバリデビュー公演の後、亡命し、世界をあとと言わせた。その後のキャリアは輝かしいもので、ケヴラス公のバレエ・リュスで亡命後初の舞台を踏んだ後、各国に招かれて踊った。中でもフォンテーヌとのパートナー・シップは伝説的。すでにスターであったフォンテーヌの招きで1962年から1977年まで英国ロイヤル・バレエ団に定期的に出演。『マルグリットとアルマン』『ロメオとジュリエット』など多数の名演をのこした。
ウィーン王立バレエ、オーストラリア・バレエ、ロンドン・フェスティバル・バレエ、ミラノ・スカラ座、カナダ国立バレエ団、スウェーデン王立バレエ団、20世紀バレエ団など各地で公演。マーサ・グラハム、ポール・テイラーなどモダン・バレエのカンパニーでも踊った。1989年に51歳で初めて母国の地を再び踏むことを許され、マリンスキー劇場で踊った。映画やテレビにも多数出演し、「スター」としての地位は不動のものだった。1989年にパリ・オペラ座の芸術監督に抜擢され、ギエムを見出す一方で今も踊り続けられている『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ラ・バヤデル』を再演出のヌレエフ版を振付けた。
54歳で当時は不治の病であったエイズで死去。世界中に衝撃が走った。

次回予告

初演から100周年
『春の祭典』、そして『遊戯』

100th anniversary of "Le Sacre du Printemps" and "Jeux" also

今年は『春の祭典』の初演から100周年目にあたります。各国では様々なイベントが企画されています。またそのあまりに衝撃的な振付の陰に隠れている感のある『遊戯』も今年同じく100周年です。その2つのバレエ・リュス作品を振り返ります。

(期間：2013/6/26～2013/7/21 於：2階共通ロビー・ピアッツァ)

◎企画・監修
芳賀直子(はが・なおこ/薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)